

即戦力となる火山人材育成プログラム 令和6年度成果報告シンポジウム

日時: 2025年3月27日(木)  
 場所: オンライン(Zoom)

開始	終了	時間	内容	講演者	東北大 担当者	演題・研究課題名
10:00	10:20	0:20	はじめに			(自己紹介)
10:20	10:40	0:20	基調講演1	西村太志		火山研究の現状と課題
10:40	10:55	0:15	課題1	山本順司・ 九州大学大学院地球惑星科学部門	無盡 真弓	顕微ラマン分光分析による微小領域含水量・結晶量分析技術の 火山噴出物への応用
10:52	11:07	0:15				
10:55	11:10	0:15	課題2	坂巻竜也・ 東北大学理学研究科	奥村 聡	中性子イメージングを用いたマグマ中の含水量測定法の開発
11:10	11:25	0:15	休憩			
11:25	11:40	0:15	課題3	下司 信夫・ 九州大学大学院地球惑星科学部門	中村 美千彦	機械学習による自動粒子識別機能の火山噴出物への応用
11:40	11:55	0:15	課題4	佐藤 雅彦・ 東京理科大学理学部第一部物理学科	中村 美千彦 無盡 真弓	磁気測定 of 最新技術を用いた火山岩石磁気学研究の開拓
11:55	13:00	1:05	昼休み			
13:00	13:15	0:15	課題5	吉敷 祥一・ 東京科学大学総合研究院	市来 雅啓	火山噴火が建築物の機能維持に及ぼす影響
13:15	13:30	0:15	課題6	今西 祐一・ 東京大学地震研究所	西村 太志	スーパーハイブリッド重力測定による火山地下の密度変化の検出
13:30	13:45	0:15	課題7	長尾 大道・ 東京大学地震研究所	廣瀬 郁	マイクロフィルムに収録された歴史地震記象に潜む火山性振動 現象を検出するための深層学習器の開発
13:45	14:00	0:15	課題8	伴 雅雄・ 山形大学理学部	宮本 毅	蔵王山のラハール堆積物の分布範囲の解明
14:00	14:15	0:15	社会人院生	梨元 昂 東京科学大学理学院	指導教員 寺田 暁彦	草津白根火山の2010年代のアンレスト・水蒸気噴火メカニズム の解明
14:15	14:30	0:15	休憩			
14:30	14:45	0:15	課題9	Pablo D. Mininni・ Univ. Buenos Aires, Physics Department (市原美恵)	西村 太志	火山噴煙内部の乱流, 電化, および雷発生
14:45	15:00	0:15	課題10	江本 賢太郎・ 九州大学大学院理学研究院	廣瀬 郁	光ファイバーケーブルを用いた超高密度観測から解明する桜島の 爆発地震の波動場と火道付近の短波長不均質構造
15:00	15:15	0:15	課題11	山崎 新太郎・ 京都大学防災研究所徳島地すべり観測所	後藤 章夫	音響探査技術, 有機地球化学, 陸水学的手法による, 静穏な火 口湖の活動調査
15:15	15:30	0:15	課題12	堤 隆・ 明治大学黒耀石研究センター	中村美千彦	過去の浅間山噴火と地域社会罹災の究明に基づく火山防災
15:30	15:45	0:15	課題13	吉光 奈奈・ 京都大学大学院工学研究科	西村 太志	微動観測を通じた別府地域における火山性熱水分布推定の試 み
15:45	16:00	0:15	休憩			
16:00	16:15	0:15	課題14	石村 大輔・ 東京都立大学都市環境学部	廣瀬 郁	現世海岸や堆積物中に存在する漂着軽石の分布・産状の把握
16:15	16:30	0:15	課題15	長谷川 健・ 茨城大学理学部地球環境科学コース	宮本 毅	房総半島における古地磁気-酸素同位体複合層序を活用した 前期更新世広域テフラの高精度年代決定
16:30	16:45	0:15	課題16	高木 涼太・ 東北大学大学院理学研究科	廣瀬 郁	統合先端地震観測による桜島火山・始良カルデラ下の高分解能 構造イメージング
16:45	17:00	0:15	おわりに			